

Ⅱ. 本校生徒のプール使用の実態とその検討 (第3報)

— 自由時における使用の実態について —

天 野 菊 三 郎

研究要旨

過去2ヶ年にわたる放課自由時と夏期休暇中の公開練習時のプール使用の実態調査により、全般に利用度が不十分の結果を得たので、本年は生徒に競泳の評価基準を示し、到達目標を具体化せしめるとともに、特に女子の使用が劣っているのを、女子のみの練習日を週1回(水)特設した。その結果と、全般の練習状況を過去の実績と比較検討することとした。

Ⅰ 研究項目

- A 放課時におけるプール利用状況の実態分析
(前年との比較)
- B 女子練習日の利用状況の分析
- C 夏期休暇時における利用状況の実態分析
(3ヶ年間の比較)

Ⅱ 調査方法 前年に同じ

Ⅲ 調査の結果と考察

A 放課時におけるプール使用状況の実態分析

○練習回数

6月1日～7月1日迄27回の中、プール掃除1日、雨天未開放1日、日本脳炎接種の為未開放1日があったため、実利用回数は24日で、その中で水曜日は女子のみの練習日としたため、男子21回・女子は24回となる。(前年は25回)

○練習人員 1231名＝中987名・高244名
(1592名＝中1290名・高302名)

() 内前年を示す

ブロック別調査

中 男	640	(942)	中 女	347	(328)
高 男	197	(222)	高 女	47	(80)

学年別男女別調査

中 男			中 女		
1年	2年	3年	1年	2年	3年

246	241	153	140	105	102
(477)	(256)	(229)	(151)	(109)	(68)
高 男			高 女		
1年	2年	3年	1年	2年	3年
119	40	38	21	26	0
(83)	(84)	(55)	(46)	(13)	(21)

○練習延人員は前年比において 全体＝78%、中＝76.5%、高＝80%となり、中学の減少が稍多い。ブロック別では中女の稍増加以外は中男・高女の減少が目立っている。学年別男女別では、中1男51%、高2男48%、高1女45%、高3女0%となり、前年に比し減少が目立つ。女子の練習日特設は、高女の増加を対象に考えたが、高3の女子には全く効果のないことがわかった。

○練習回数 (1人平均練習回数)

中 男			中 女		
1年	2年	3年	1年	2年	3年
4.82回	4.46	3.00	3.90	2.76	2.55
(9.2)	(5.0)	(4.3)	(4.0)	(2.72)	(1.66)
高 男			高 女		
1年	2年	3年	1年	2年	3年
1.22	0.42	0.44	0.36	0.56	0
(0.86)	(0.96)	(0.90)	(0.90)	(0.24)	(0.49)

(1日平均練習人員数)

中 男			中 女		
1年	2年	3年	1年	2年	3年
11.7人	11.5	7.3	5.8	4.3	4.3
(19.0)	(10.2)	(9.1)	(6.0)	(4.3)	(2.7)

高 男			高 女		
1年	2年	3年	1年	2年	3年
5.7	1.9	1.8	0.9	1.1	0
(3.3)	(3.4)	(2.2)	(1.8)	(0.5)	(0.8)

1人平均回数では略学年進行で悪くなり、高校では高1男以外は平均1回にもなっていない。全体に前年と同じ傾向を示していることから考えられることは、水泳に対する意欲が高校生は中学生程高くないことに原因するものか、或は7月下旬に行なわれる対金大付高定期戦に具えてクラブ活動が最も活発になる時期で

もあり、自由練習の水泳に対するクラブの拘束力が強い結果とも考えられるが、ともかく低い結果がでてい。高3女の0名は、夏期休暇中も0名であることから原因を調査する必要がある。

1日平均練習人員の合計は55.5名(63.3名)となり、25m×15mのプールでは概ね適当の数とは思えるが、2時間の練習時間を考えると余裕がありすぎると思われる。

○練習回数0回の者の調査

$$\text{全体} = \frac{346 \text{名}}{705 \text{名(在籍者)}} = 46.0\% (44.7\%)$$

$$\text{中男} = \frac{17}{156} = 10.9\% (8.4\%)$$

プール使用状況調査 6月

日	1	2	3	5	6	7	8	9	10	12	13	14	15	16	17	19	20	21	22	23	24	26	27	28	29	30	1	計
曜日	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	
天候	晴	晴	晴	曇	晴	晴	晴	雨	曇	晴	晴	晴	晴	曇	曇	晴	晴	曇	曇	晴	晴	晴	雨	晴	晴	曇		
気温	30	29	29	27	30	28	25	20	26	29	29	28	29	27	28	28	27	27	27	23	29	27	28	26	27	26	26	
水温	27	26	26	26	26	25	24	23	23	25	26	25		23	25	25	25	25	24	24	26	25	25	24	24	25	23	
中男	13	17	25	15	10		9		6	4	12		ブ	20	9	11	9		10	15	20	9	19	未	日	12	1	246
一女	3	5	10	3	2	19			4	6		14	1	6	13	6	3	12	2	5	17	4		開	本	6		140
中男	25	26	22	18	29		13		2	12	11		ル	6	14	11	14		2	1	7		19	放	脳	5	1	241
一女	9	17	8	7	2	3	9		3	5	2	16	掃	4	5		14				3			接	炎	1		105
中男	7	13	16	14	7		26		3	1	8		除	14	17	8	6		6		2		5		種			153
三女	3	1	3			9	11			7	12		14	16		2	17	6					1					102
中計	60	79	84	57	50	31	68		18	35	33	42		64	74	36	34	43	26	21	49	13	44		1	23	2	987
高男	11	7	14	4	6		7	8	4	3	6			3	9	8	3		3	3	7		5		6	2		119
一女				2	2	3					6	5		3														21
高男	5	2	1	4	5		2	2	3	1					2	1	1	2		1	1	4				4		40
二女				1		11	2					4		5						2								26
高男	4	3	6		5	4				1	1			6							5	3						38
三女																												0
高計	20	12	21	11	16	13	18	10	7	5	13	9		25	9	4	0	5	3	15	1	12		6	2			244
日計	80	91	105	68	66	44	86	10	25	40	46	51		67	99	45	38	43	31	24	64	14	56		7	25	6	1231

C. 学校生活における時間と空間の利用についての研究

中女 = $\frac{16}{114} = 14.0\%$ (20.2%)

高男 = $\frac{189}{272} = 69\%$ (61%)

高女 = $\frac{124}{163} = 74.8\%$ (70.0%)

○ 学年・男女別調査

中 男			中 女		
1年	2年	3年	1年	2年	3年
$\frac{4}{51}$	$\frac{4}{54}$	$\frac{9}{51}$	$\frac{6}{36}$	$\frac{5}{38}$	$\frac{5}{40}$
7.9%	7.8%	17.5%	16.7%	13.2%	12.5%

高 男			高 女		
1年	2年	3年	1年	2年	3年
$\frac{50}{89}$	$\frac{75}{96}$	$\frac{64}{78}$	$\frac{40}{58}$	$\frac{29}{50}$	$\frac{0}{55}$
56.2%	78.1%	73.5%	70%	58%	100%

中女の前年比が良い他は全ブロック0回の者が増加しており、プールに対する無関心のものが多いのには寒心に堪えぬ訳である。中学は臨海学校で鍛練しており、泳力は十分もっているが、高1の半数は外部よりの生徒であり、この中に泳力不十分の者が多い現状では高1の練習の向上が特に望まれる訳である。

B 女子練習日の利用状況の分析

女子の練習人員は375名で、その中で女子特設日の練習日3回の合計は138名となり、1回の平均人員は49.3名となる。他の日の21回の合計は237名で1回の平均は11.3名で、約5倍の人員が練習しており、女子のみの特設は意味があるものといえる。当初高女の心理的影響を考え特設日の高校生の増加を期待したが、138名中、中女116名、高女22名であり、高女にはよい結果を得ていない。但し練習状況をみていると男子と一緒にの場合と異なり落ちついて伸び伸びと練習ができ、泳力の向上には良い結果を得たものと思われる。クラブ活動の練習日の関係で水曜日と固定すると練習できないものがあり、隔週に水・木として欲しいと希望もあり来年は考慮する必要がある。

○ 個人別練習回数調査

練習回数0回のは前項で述べたが、平均回数 $\frac{705}{1230} = 1.74$ 回にみたざるもの、即ち0~1回のは568名で、全体の $\frac{568}{705}$ 名=80.5%となり、8割のものが不十分といえる。安全教育面のからも健康教育の面からも今一層の努力を期待したい。練習回数10回以上は中男16名、中女3名、高男3名で中1・2男に集中し、女子は中1のみである。

○ プールコンディションについて

6月は入梅期であり、雨多く水温・気温共に低く初

心者には意欲低下を与えるものではあるが、本年の状況をみると雨天の日は少なく、開放日24日の中で晴で気温26°、水温24°(競泳の場合の至適水温)以上の日数は14回もあり、その他の日でも曇りではあるが水温・気温が良いコンディションの日が大部分で、練習には支障なく恵まれた年であった。自然環境条件には練習不振の原因を求めることができないから、結論的には練習意欲の問題といえる。これがためには到達目標としての評価基準(前年設定)を、より明確に与え、課題学習の強化を進める必要がある。

個人別練習回数調査表

在籍	中一		中二		中三		中計	高一		高二		高三		高計	総計
	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女		
籍回	51	36	54	38	51	40	270	89	58	96	50	87	55	435	705
20								1						1	1
19								1						1	1
14	1	1	1				3								3
15		1					1								1
12	3	1	1				5	1							6
11	3		4		1		8								8
10			1		1		2								2
9	3	1	1	1		1	7	1							8
8	3		2		1		6								6
7	1	2	4	2			9		2		1		3		12
6	4	1	5	2	3	1	16								16
5	5	6	1	1	3	3	19	1						1	20
4	5	4	10	3	14	6	42	2	3		1		6		48
3	8	5	3	9	5	9	39	5						5	44
2	4	5	7	10	5	6	37	8	3	2	5	6		24	61
1	7	3	10	5	9	9	43	19	15	14	16	15		79	122
0	4	6	4	5	9	5	33	50	40	75	29	64	55	313	346

C 夏期休暇時における利用状況の実態分析

今年で3年目になるので3ヶ年間の比較検討をして結論を求める。

○ 公開回数

7月中は8日間で午前・午後開放したので16回、8月は午後のみ27回であったが、台風や雨天が2回あったので、実質練習回数は41回となる(41年43回・40年53回)。他に中1の臨海学校準備訓練が午前4回、高1特別訓練を午前4回行った。水温は大体28°以上、気温も高温で晴の日が多く練習条件は良好であった。

ブール使用状況調査 7/21～8/31

日	7/21	22	24	25	26	27	28	29	31	8/1	2	3	4	5	7	8	9	10	11	12	14	15	16	17	18	19	21	22	23	24	25	26	28	29	30	31	計
曜日	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	金	土	月	火	水	木	
中一	男	7	8	5	9	8	7	7	8	1	3	4	3																								79
中一	女	8	4	5	5	1		2		4	8	2	3																								52
中二	男	10	7	7	1		4	5	4	2	3																									93	
中二	女	4	6	5					5																											20	
中三	男	10	5	1	1		10	6	9	3	5																									107	
中三	女	3		1	1			8		1				1																						18	
中計		42	30	24	17		23	26	27	14	9	7	12	5	13	7	2	5	4	3		3	8	4	27	3	7		4	5	10	6	11	2	8	1	369
高一	男	12	9	6	5		11	5	8	2																										147	
高一	女						1																													44	
高二	男	22	19	11	3		8	7	9	16	13	9	8	6	8	4	4	5	5	6	15	12	8	13	3	1										236	
高二	女		4				1	2	4	1	2			2							5															28	
高三	男																																			63	
高三	女																																			.0	
高計		34	43	17	9		23	16	23	2	20	16	12	9	14	14	9	19	18	14	15	14	22	15	29	12	2									518	
合計		76	73	41	26		46	42	50	16	29	23	24	14	27	21	11	24	22	17	15	27	30	19	56	15	9									887 (女子 162)	

Ｃ．学校生活における時間と空間の利用についての研究

(その2)

○練習延人員

887名(41年1039名・40年1313名) 逐年減少の傾向を示している。1日平均21.8人で6月の放課時の55.5人の約40%弱となっている。

○10日区分別練習人員

	41年	40年
1期7/21~31 = $\frac{354人}{7日}$ = 50.6人	58.8	71.5
2期8/1 ~10 = $\frac{195人}{9日}$ = 21.7人	24.4	45.8
3期11 ~ 20 = $\frac{188人}{8日}$ = 23.5人	16.0	25.3
4期21 ~ 31 = $\frac{134人}{8日}$ = 16.8人	19.9	34.8

1期は高校は金大付高戦の為に運動クラブは拘束されておるが、中・高共に出勤する生徒が多く、例年通り休暇中の平均では最高を示している。2期は中1・中2・高1と学校行事が行なわれるので利用度は激減する。但し中1は、2日～5日まで午前中臨海訓練の準備練習をするのでプールの使用度は多い。3・4期は休暇中の各種行事が終了し生徒は家庭に落ちついているためか出校数が少ない。特に中1は17日の出校日を除き男子は0となっているが、臨海訓練後で水泳に対する意欲が飽和状態となり、いささか疲労気味と思われる。

○ブロック別練習調査

区分	中 男			中 女		
年 度	42	41	40	42	41	40
人 員	279	402	450	90	84	384
1人M	1.80	2.58	2.70	6.73	0.84	3.88
区分	高 男			高 女		
年 度	42	41	40	42	41	40
人 員	446	449	405	72	104	74
1人M	1.65	1.82	1.90	0.44	0.70	0.51

○学年別男女別練習調査(平均) (その1)

	中 男			中 女			
学 年	1	2	3	1	2	3	
1人	42	1.58	1.72	2.10	1.44	0.50	0.45
M	41	1.96	2.41	3.34	0.50	1.38	0.88
1日	42	2.08	2.32	2.49	1.37	0.50	0.42
M	41	3.00	3.08	4.13	0.56	0.72	0.84

ブロック別では、初年度から見て減少の多いのは中男・中女で、高男・高女は変化が少ない。

学年男女別では、中女1年の増加と高2男がわずか

	高 男			高 女			
学 年	1	2	3	1	2	3	
1人	42	1.65	2.46	0.72	0.76	0.56	0
M	41	1.72	2.01	1.70	0.90	0.40	0.86
1日	42	3.87	5.50	1.47	1.16	0.65	0
M	41	4.51	5.90	2.42	1.21	0.73	2.80

に増加している。他は前年比は劣っている。特に高3女の0名が目立って居り、6月の放課練習時から引続き0名なのが問題である。

○個人別練習回数調査

最高は17回で0回の者は $\frac{387}{705} = 55.0\%$ となり、41年 = 52.3%, 40年 = 46.3% に比すると増加している。1人平均 = $\frac{887}{705} = 1.26$ 回(前年1.59回) である故1回を含めると $\frac{514}{705} = 68.5\%$ となり約70%の者が平均以下ということになり、利用度不十分といえる。

おわりに

3年間のプール利用実態調査の結果を利用して毎年練習方法・管理等に改良を加えてきた。即ち女子練習日の特設、8月における午後みの開放(利用頻度と監督の負担軽減)、6月の中・高別練習から一本化の練習、入水・退水の正確な出席の記入等と得る所が大きかったが、練習人員の減少はプール創設時の物珍らしさから慣れた減少ばかりとはいえ、積極的に方策を講ずる必要がある。来年度よりの方法として評価基準を利用してのスピードの向上を課題とする方法と、簡易水球の施設とルールを設け、スポーツの練習を加えたならばと思っている。鎖夏のレクリエーション的利用では不十分である。